
中国情報（畜産）

2008年4月8日号

◎2008年2月における牛・羊肉市場情勢

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2008年2月における中国の牛・羊肉（注：中国では、一般に綿羊とヤギを区別せずに「羊」と総称する。同様に、「羊肉」は綿羊肉とヤギ肉の総称。以下同じ）市場情勢の分析結果について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

2008年2月の中国の牛・羊肉価格は上昇し、牛肉価格の上昇幅は羊肉よりも大きかった。国際市場では、1月の米国の牛・羊肉在庫量が小幅に減少し、米国、EUの価格はともに前年同月をやや上回った。

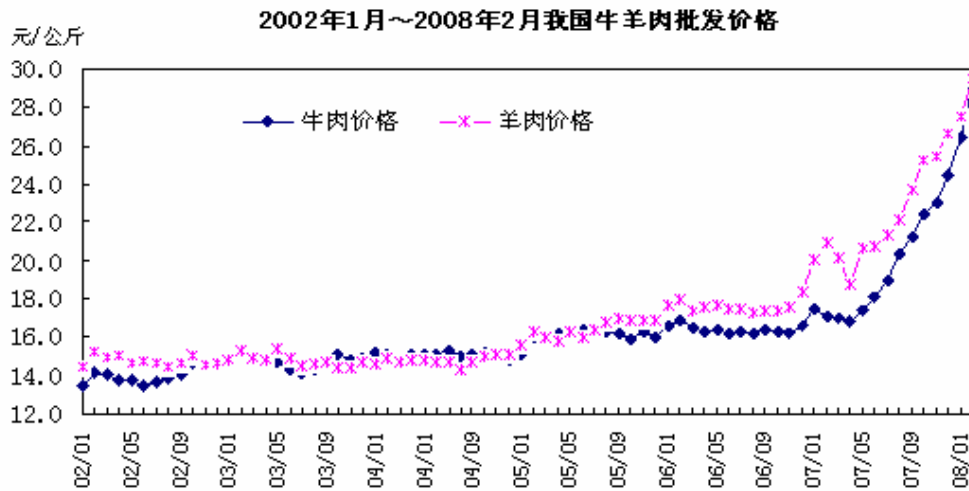
1 牛・羊肉価格変動の特徴

（1）価格は騰勢の持続を維持

牛・羊肉価格は、2007年5月から上昇を始め、2008年に入っても引き続き騰勢を維持し、2月には史上最高を更新した。農業部卸売市場価格監視によると、2月の中国の牛肉価格は1kg当たり29.51元に達し、前年同月比40.67%高、前月比7.05%高となった。牛・羊肉卸売市場価格は29元を突破し、史上最高となった。

（2）牛肉価格の上昇幅は羊肉のそれを超過

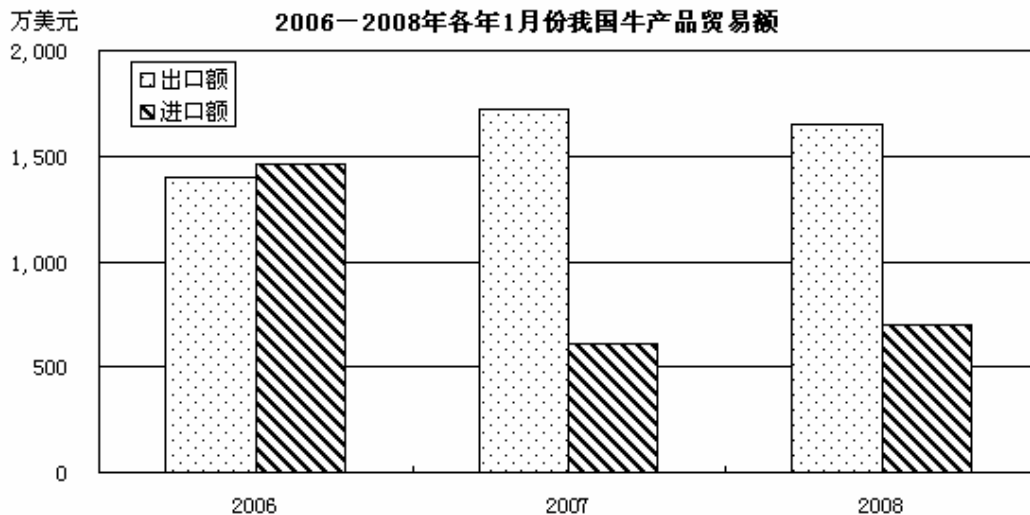
2008年1～2月の中国の牛肉価格は、2007年12月に比べ、毎月1kg当たり2元前後ずつ上昇した。同じく羊肉価格は1元強ずつ上昇した。この結果、前月比、前年同月比は、牛肉価格が羊肉価格の上昇幅を上回るようになった。



2 牛産品輸出は減少、輸入は増加、輸出は輸入を上回る

2008年1月の中国の牛産品輸出額は、前年同月比4.12%減の1,654.6万ドルとなった。うち牛産品輸出総額に占める牛肉の割合は47.72%、牛肉加工品は37.49%、生きた牛（繁殖用を除く）は14.7%となった。

同じく牛産品輸入額は、15.14%増の695.48万ドルとなった。うち牛産品輸入総額に占める牛肉の割合は24.62%、牛肉加工品は11.53%、牛モツ7.58%、繁殖用牛56.27%となった。中国の牛産品輸出は輸入を上回り、貿易黒字を維持している。



(1) 牛肉は輸出額・輸入額ともに増加

2008年1月の中国の牛肉輸出量は前年同月比19.84%減の2,183.94トン、輸出額は同47.72%増の789.58万ドルとなった。牛肉の主要輸出相手先は香港、ヨルダンおよびクウェートで、その合計は牛肉輸出総額の77.22%を占めている。主要輸出省区は吉林省、

遼寧省、黒龍江省、内蒙古自治区および湖南省で、これらの輸出合計額は全国の輸出総額の80.39%を占めている。

同じく牛肉の輸出量は同7.65倍増の424トン、輸入額は同5.41倍増の171.26万ドルとなった。牛肉の主要輸入相手先はオーストラリアであり、その輸入額は112.49万ドルで、中国の牛肉輸入総額の65.68%を占めている。

(2) 牛肉加工品輸出は減少、輸入は増加

2008年1月の中国の牛肉加工品輸出量は前年同月比の28.47%減の2,234.37トン、輸出額は同12.65%減の620.29万ドルとなった。その主要輸出相手先は日本、香港および韓国で、これらの輸出合計額は、牛肉加工品輸出総額の90.77%を占めている。主要輸出省市は河北省、広東省、山東省、天津市および河南省で、その輸出合計額は牛肉加工品輸出総額の84.25%を占めている。

同じく輸入量は同1.47倍増の38.75トン、輸入額は同2.46倍増の80.16万ドルとなった。牛肉加工品の主要輸入相手先はオーストラリア、主要輸入省は山東省であった。

(3) 牛モツは輸出、輸入ともに減少

2008年1月の牛モツ輸出量は前年同月比57.86%減の22.45トン、輸出額は同60.08%減の1.5万ドルとなった。主要輸出相手先は香港およびクウェートで、すべて吉林省から輸出されたものであった。

同じく輸入量は同42.86%減の288.93トン、輸入額は26.16%減の52.69万ドルとなった。主要輸入相手先はオーストラリアおよびニュージーランド、主要輸入省は遼寧省および河北省であった。

(4) 生きた牛は輸出減、繁殖用牛は輸入減

2008年1月の繁殖用牛を除く中国の生きた牛の輸出額は前年同月比30.36%減、輸出量は同46.8%減の2,566頭となった。生きた牛の主要輸出相手先は香港で、輸出額は同32.45%減の217.65万ドルであり、中国の生きた牛の輸出総額の89.48%を占めている。主要輸出省区市は広東省、河北省、北京市、内蒙古自治区および湖北省で、これらの輸出合計額は、生きた牛の輸出総額の87.69%を占めている。

同じく繁殖用牛の輸入額は同18.94%減の391.37万ドル、輸入量は同15.78%減の2,386頭となった。繁殖用牛はすべてオーストラリア産で、そのすべてが天津市向けであった。

3 羊（綿羊およびヤギ）製品の輸入は輸出を上回り、貿易赤字が拡大

(1) 羊製品は輸出、輸入ともに増加

2008年1月の中国の羊産品輸出額は前年同月比3.64%増の572.82万ドル、輸入額は同1.24倍増の1,029.87万ドルとなった。

(2) 生きた羊の輸出は減少

2008年1月の繁殖用を除く生きた羊（綿羊およびヤギ）の輸出額は前年同月比40.63%減の8.46万ドル、輸出量は同42.68%減の2,640頭となった。輸出のすべてが香港向けであった。

4 国際市場情勢

(1) 生産

米国農務省（USDA）農業市場流通局（AMS）の報告によると、2008年1月1日の統計では、米国、カナダなどの牛・羊飼養頭数は小幅に減少し、前年同月比でも減少しているため、牛・羊肉の市場供給には一定の抑制圧力が生じた。2008年2月9日までの米国の牛の合計と畜頭数は前年同期比1.2%増の368.32万頭、子牛は3.4%減の9.24万頭となった。また、牛肉生産量は同1.2%増の28.46億ポンド（注：1ポンド=453.5グラム）、子牛肉生産量は同19.3%減の1,500万ポンドとなった。このほか、羊（綿羊およびヤギ）の飼養頭数は同1.7%減の26.70万頭、羊肉生産量は同1.6%減の1,900万ポンドとなった。

また、オーストラリアの牛の合計と畜頭数は同16.7%減の54.83万頭、子牛は同24.5%減の97.18万頭となった。

さらに、カナダの牛の合計と畜頭数は同8.1%減の35.47万頭、子牛は同1.9%減の2.85万頭となった。同じく羊の屠畜頭数は同3.3%減の1.68万頭、牛肉生産量は同7.4%減の2.83億ポンドとなった。

(2) 貿易

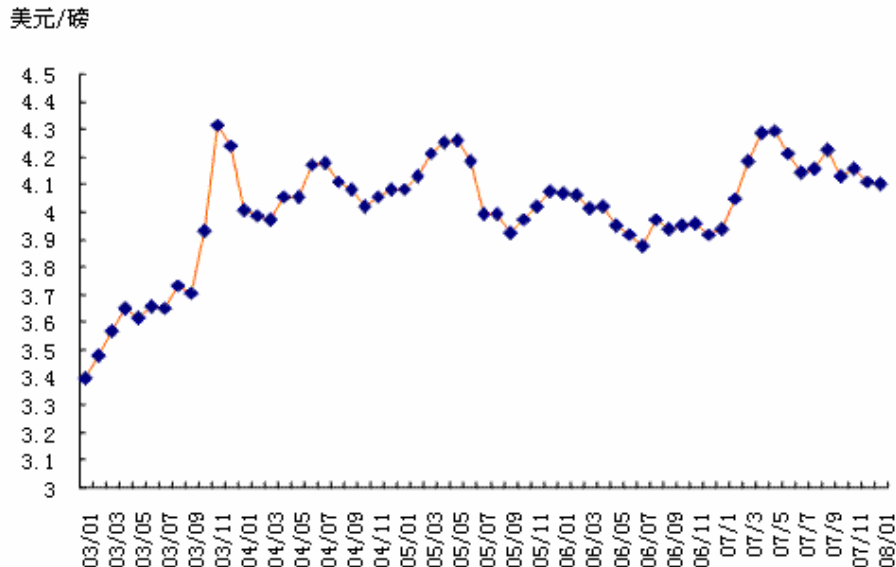
世界の経済状況から見て、2008年初めの米国の牛・羊肉輸出入は、2007年末の貿易状況の延長であるとみられている。2008年2月の米国の牛肉合計輸入量は、前年同月比2.4%増の31.2億ポンドとなった。同じく牛肉合計輸出量は同16.7%増の16.7億ポンドとなった。うち米国のメキシコ産肥育牛の合計輸入量は、同26.7%増の4.05億頭となった。カナダ産の生きた牛の輸入量は引き続き増加するものと予測されている。また、メキシコ向けの母羊輸出は、同17.3%減の1.35万頭と見積もられている。

(3) 価格

米国の牛・羊肉価格は、前年同期の水準を上回った。USDA経済調査局（ERS）の報告によると、米国の牛肉価格は、前数カ月に比べ小幅に上昇した。小売価格につい

て見ると、2008年1月のチョイス級牛肉の平均価格は前月比0.31%安の1ポンド当たり4.10ドルで、2007年5月から続いた落勢継続が終息し、前年同月比1.46%高となった。

2003年1月～2008年1月美国市场精选牛肉零售价格



また、卸売価格については、2008年1月の骨抜き牛肉（90%生鮮品）の平均卸売価格は、1英ハンドレッドウェイト（約50.8kg）当たり139.75ドルで、前月比4.29%高、前年同月比2.12%安となった。骨抜き輸入牛肉（90%冷凍品）の平均卸売価格は同136.15ドルで、前月比5.49%高、前年同月比2.40%高となった。

羊肉については、2008年1月の米国東海岸のチョイス級羊肉の平均卸売価格は、1英ハンドレッドウェイト当たり215.00ドルで、前月比0.36%高、前年同月比4.26%高となった。

EUでは、2008年1月から2月にかけて、牛・羊肉とも価格が上昇した。EUの最新統計によると、1月のEUの牛肉価格は8週連続で上昇し、1月27日には1トン当たり3,000ユーロを突破し、2月24日には、前年同月比6.88%高の3,137ユーロ、子牛価格は同1.86%高の3,276ユーロとなった。2008年1月のEUの羊肉平均価格は1トン当たり3,908ユーロで、2007年12月末の3,889ユーロ以降8週連続で上昇し、2月末には4,149ユーロに達し、12月に比べ0.17%高、前年同月比ではわずかな下落となった。